

# 「地理空間」執筆要綱

## 1) 原稿の作成

本文等では, A4 版白紙片面を縦に用いて上下 25mm, 左右 50mm 程度の余白を取り, 文字サイズは 11 ポイント程度とし, 23 字×36 行で印刷する。

## 2) 論文表題・論文著者等の記述

和文表題, 論文著者, 所属機関・部署名, キーワード 5 個程度と, 同英文表記を以上の順序で表記する。

## 3) 和文摘要・英文要旨

和文の摘要は 400 字以内で記述する。英文要旨は 500 語以内とし, 上下左右の余白を十分に取って 20~25 行で印刷する。

## 4) 章・節・項のスタイル

章は I, II, …, 節は 1, 2, …, 項は 1), 2) … とする。本文中では, 「II では」, 「III の 2 において」のように表記する。

## 5) 句読点

本文では, 句点は「。」, 読点は「,」とする。注・文献表では, 句点を「.」とする。

## 6) 文献の引用

「伊藤 (1993) では」, 「町田・新井 (1983) によると」, 「Ilbery and Kneafsey (2000) は」, 「…である (町田・新井, 1983)。」, 「… (伊藤, 1993 ; Ilbery and Kneafsey, 2000)。」  
「末吉 (1989, 1991) は」, 「…である (マツカン 2008: 67-73)」, 「…という指摘もある (Johnston et. al. 1994: 136-138)。」, 「村山ほか (1997) は」のように表記する。著者が 3 人以上の場合は, 筆頭著者の姓の後に「ほか」もしくは「et. al.」を付す。

## 7) 図表番号の記し方

表は表 1, 表 2, …, 図は図 1, 図 2, …, とする。写真は図に含める。一つの図表が複数の部分に分かれる場合は, a, b … を付し, 本文では図 1-a のように言及する。図表番号は 1 桁のものは全角数字を用い, 2 桁以上の場合には半角数字を用いる。

## 8) 原稿の順番

- ① 表題, 著者名, 所属機関・部局
- ② 和文摘要・英文要旨, キーワード
- ③ 本文 (注, 文献, 付録含む)
- ④ 図表キャプション
- ⑤ 表
- ⑥ 図

の順に並べ, 和文摘要から本文末尾まで通しページを付ける。

## 9) 注

注は, 本文の記述を簡潔にしたために, 本文を補足する必要がある場合に限って用いることができる。注記は, 本文中の当該箇所の右肩に右片括弧付きで通し番号を付し, 本文 (謝辞) の後に, まとめて記述する。

## 10) 図表

完成した冊子は B5 版, 2 段組となるため, 図表のサイズについては, 片段のものは 7cm 以下, 両段のものは 14cm 以下になるように作成する. 写真製版を必要とする場合は, 図表欄外に縮小率を記入する.

## 11) 文献表と文献引用

文献は注とは別記し, 参考文献としてまとめる. 文献の書式は以下のようにする。

### ① 和文論文

著者名 (発行年): 論文名. 掲載誌名(原則として略さない), 巻数(巻数はボールド), ページ.

### ② 和文単行本

著者名(発行年): 単行本名. 出版社名.

### ③ 欧文論文

著者名 (発行年): 論文名. 掲載誌名(イタリック, 多少の略称は可. 原則として Journal は J.), 巻数(巻数はボールド), ページ.

### ④ 欧文単行本

著者名 (発行年): 単行本名(イタリック). 出版社名.

⑤巻号のある雑誌で巻ごとに通しページのある場合は号数を省略する。号数のみのものは, 巻数に準ずる (地学雑誌, 115, 262-278.)。巻号のある雑誌で号ごとにのみ通しページのある場合は巻号を記述する。

⑥文献は, 日本語文献, 中国語文献, 韓国 (朝鮮) 語文献, 欧語文献の順に並べる。

⑦同一著者の文献は, 発表年順にまとめる。同じ発表年のものが複数ある場合は, 引用順に a, b, …を付して並べる。

⑧類似した雑誌名が複数あって紛らわしい場合, 必要に応じて発行地もしくは発行機関名を括弧書きで付す。

## 【記述例】

### 文献

田林 明 (1994): 黒部川扇状地におけるチューリップ球根栽培の分布変化. 地理学評論, **67A**, 437-460.

宮澤 仁・阿部 隆 (2005): 1990 年代後半の東京都心部における人口回復と住民構成の変化. 地理学評論, **78**, 893-912.

友澤和夫 (1989a): 周辺地域における工業進出とその労働力構造—中・南九州を事例として—. 地理学評論, **62A**, 289-310.

友澤和夫 (1989b): わが国周辺地域における「非自立的産業」の展開と地域労働市場の構造—熊本県天草地方を事例として—. 経済地理学年報, **35**, 201-220.

小田宏信 (2005): 『現代日本の機械工業集積—ME 技術革新期・グローバル化期における空間動態—』古今書院.

戸谷 洋・町田 洋・内藤博夫・堀 信行 (1971): 日本における扇状地の分布. 矢沢大二・戸谷 洋・貝塚爽平編: 扇状地. 古今書院, 97-120.

村山祐二・高橋伸夫・桜井明久・手塚 明・菊池俊夫・松村公明 (1997): パリ市における

- 居住空間の特質. 人文地理学研究 (筑波大学地球科学系), **XXI**, 1-37.
- 南 榮佑 (1988): 『都市ト国土』法文社. (韓国語)
- 仁平尊明・コジマ, A. (2007): ブラジル・南パンタナールにおけるエコツーリズムの発展.  
丸山浩明編『ブラジル・パンタナールにおける熱帯性湿原の包括的環境保全戦略』(平成  
16年度～平成18年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書) 139-157, 立教大学  
文学部.
- グローツ, R. 著, 小田宏信訳 (1997): 中小企業のネットワーク化と競争力の強化 -南西  
ドイツにおける事例研究-. 竹内淳彦編『企業行動と環境変化』222-241, 大明堂.
- Feldman, M.P. and Florida, R. (1994): The Geographic Source of Innovation: Technological  
Infrastructure and Product Innovation in the United States. *Annals of the Association of  
American Geographers*, **84**, 210-229.
- Kostiainen, J. (2002): Learning and the 'Ba' in the Development Network of an Urban  
Region. *European Planning Studies*, **10**, 613-631.
- Bowler, I.R., Bryant, C.R. and Cocklin, C. (2002): *The Sustainability of Rural Systems*. Kluwer  
Academic Publisher.
- Smith, D. (1979): *Where the grass is greener: Living in an unequal world*. Penguin Books. スミ  
ス, D. M. 著, 竹内啓一監訳 (1985): 『不平等の地理学 -みどりこきはいずこ』古今書  
院.
- ウーズ, R.著, 川邊 宏・小笠原節夫・高橋眞一共訳(1983): 地域人口分析法-地理学と  
人口学の接点-. 古今書院. Woods, R. (1978): *Population Analysis in Geography*. Longman.
- Nonaka, I. (1991): The Knowledge-Creating Company. *Harvard Business Review*, **69(6)**,  
96-104.
- Bowling, S. (1990): Alaska temperature and their re-relationship with the Pacific decadal  
oscillation (PDF). [http://www.brighton73.freereserve.co.uk/gw/alaska\\_pdo.htm](http://www.brighton73.freereserve.co.uk/gw/alaska_pdo.htm) [Cited  
2006/12/22].
- Christaller, W. (1933): *Die zentralen Orte in Süddeutschland*. Fischer. Translated by C. W.  
Baskin (1966): *Central places in Southern Germany*. Prentice-Hall.
- Grotz, R. and Braun, B. (1993): Networks, Milieux and individual firm strategies:  
Empirical evidence of an innovative SME environment. *Geografiska Annaler*, **75B**,  
149-163.